

計画名称

鹿児島県における道路の総合的な生活空間の安全確保

【事業主体】鹿児島県

計画の目標・計画期間

安全で円滑な交通を確保するため、すべての人が快適に通行できる道路の整備を実施し、通学路や交通事故の多発箇所など、道路の周辺環境にあわせて、交通安全の確保、歩行空間のバリアフリーを考慮した自転車歩行者道の整備、交差点改良、区画線、照明灯、道路標識、防護柵などの整備を行うことにより、安心して快適な生活空間の確保を図る。

中間目標達成状況

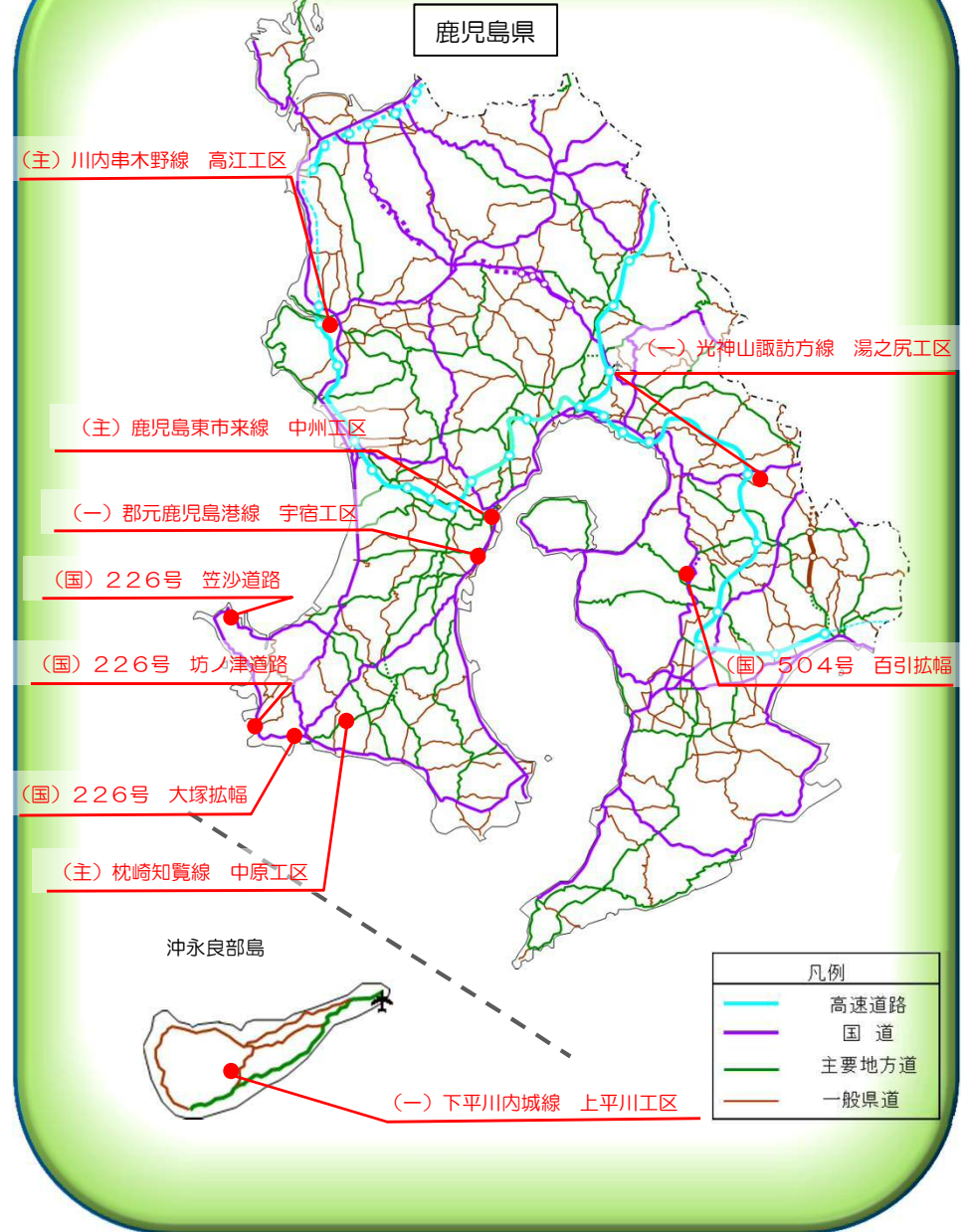
指標①	計画の成果目標	通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の対策済率を5箇年で94%にする。		
	定義及び算定式	「要対策箇所の対策済率」= 通学路安全対策実施済箇所数(箇所) / 通学路の要対策箇所数(箇所)		
	達成状況	達成度 ⇒ 96%	当初現況値 (H24)	中間目標値 (H26末)
	緊急合同点検等における対策が必要な71箇所のうち70箇所が完了し、おおむね目標値を達成することができた。	中間目標値	—	25%
		中間実績値	—	24%
指標②	計画の成果目標	改良により安心・快適な走行時間とゆとりの時間を679時間(H26末)創出		
	定義及び算定式	「安心とゆとりの創出時間」= (改良後延長/将来速度) × 将来交通量 + { (現況延長/現況速度) - (改良後延長/将来速度) } × 将来交通量		
	達成状況	達成度 ⇒ 100%	当初現況値 (H24)	中間目標値 (H26末)
	南九州西回り自動車道薩摩川内高江ICへ直結する主要地方道川内串木野線の事業完了や国道226号などの大規模事業の促進を図り、中間目標値を達成することができた。	中間目標値	—	679時間
		中間実績値	—	680時間
指標③	計画の成果目標	都市内道路の整備計画区間における走行時間損失をh26末までに2割削減		
	定義及び算定式	「走行時間損失の削減割合」= (評価時における走行時間損失/現況(H22)における走行時間損失-1) × 100%		
	達成状況	達成度 ⇒ 100%	当初現況値 (H24)	中間目標値 (H26末)
	新町線及び高山停車場線の2路線の整備を完了し、道路拡幅による走行性の向上、旅行速度の改善が図られ、目標を達成できた。	目標値	358時間	294時間
		実績値	358時間	294時間

今後の方針

通学路の緊急合同点検や通学路交通安全プログラムで要対策とされた箇所について、計画的に鋭意整備を進め、最終目標値の達成を目指す。

事業箇所

※実施した代表箇所を記載



計画名称 鹿児島県における道路の総合的な生活空間の安全確保

【事業主体】鹿児島県

事業効果発現事例

交通安全（歩道整備）

主要地方道 まくらさきちらん まくらさき なかはら
枕崎知覧線 (枕崎市 中原工区)



★整備効果★

周辺小中学校の通学路となっているが、歩道が未整備であった区間での歩道整備により、通学児童・生徒の安全を確保することができた。

- ◆通学児童を含む歩行者の安全確保
- ◆枕崎市と南九州市を結ぶ幹線道路の交通安全対策

改築（現道拡幅）

主要地方道 せんだいくしきの さつませんだい たかえ
川内串木野線 (薩摩川内市 高江工区)



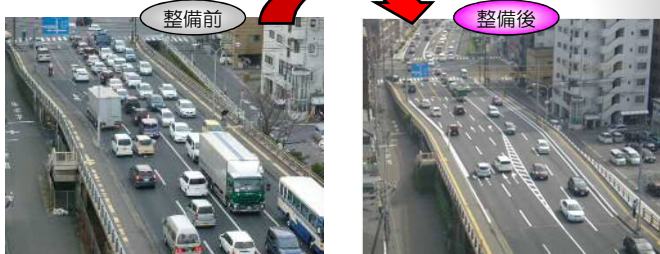
★整備効果★

歩道整備により、近隣の小中学生等の安全な通行が確保された。また、南九州西回り自動車道の薩摩川内高江ICへのアクセスが向上した。

- ◆歩道整備により歩行者の安全性確保
- ◆南九州西回り自動車道へのアクセスが向上

交通安全（交差点改良）

主要地方道 かごしまがしいちき かごしま なかす
鹿児島東市来線 (鹿児島市 中州工区)



★整備効果★

車線の増設や右折レーンの延伸といった交差点改良により交通渋滞が緩和され、安全で快適な走行を確保することができた。

- ◆交差点改良による渋滞対策
- ◆車両のスムーズな走行の実現による交通安全対策

街路整備（現道拡幅）

一般県道 きしらこうやま こうやまていしゃじょう
岸良高山線 (都市計画道路 高山停車場線)



★整備効果★

肝付町本所と内之浦支所を結ぶ合併支援道路であり、歩道整備により安全性確保が図られた。

- ◆拡幅による車両のスムーズな通行確保
- ◆歩道整備による歩行者の安全性確保